

# アジ研 ワールド・トレンド

発展途上国の明日を展望する分析情報誌

# 1

2009

## 第160号

特集●  
発展途上国から見た地球環境問題

分析レポート●  
中国・ロシア国境地区における局地的交流と人口変化





## ——グアテマラ、マヤの歴史を織る人びと—— トトニカパン

撮影：デニス・グレイ、フォトグラファー／解説：小林グレイ愛子、タペストリー作家

この写真は温泉の銭湯帰りの女性たち。洗い髪で体を冷やさぬよう頭にスカーフを巻き、着替えた衣類は風呂敷きで包んである。日本の風呂敷きの語源そのままに、ここでもお風呂のための布である。グアテマラは手織り布で物を包むラッピング文化の国。正方形の布の小さいものは焼きたてのトルティーヤを包み、あるいはかごの上にかける布、大きくてしっかりした布は赤ちゃんを背負うためなど大きさも用途もいろいろ。長方形のストールも肩にかけるだけでなく、教会の中では頭の上を覆うベールに、戸外では日よけにもなり、または両端を縛って物を包むのにも役立っている。トトニカパンでは帯に当たる浮き織りのシンタで有名であったが、これはもう織られていない。字が織り込まれた藍がすりの薄手の布やストールの端正なものもすっかりアンティークとなってしまった。今は高機によるコルテ布や糸の産地として名が知られている。